

社協ニュース

No.68

《発行》平成28年10月1日

《編集》七飯町社会福祉協議会
七飯町本町4丁目8-1 七飯町地域センター内
TEL 65-2067

ホームページ

http://www.nanae-shakyo.com/

第10回 赤い羽根 共同募金チャリティー 惜しまれつつも今年で **ファイナル!** カラオケグランドチャンピオン大会 & お楽しみ **大抽選会**



第1回 山下 寛 さん



第2回 薄井勝代 さん



第3回 堂下晶乃 さん



第4回 小形喜明 さん



第5回 丹野義光 さん



第6回 木戸季子 さん



第7回 滝澤真理 さん



第8回 小山内俊雄 さん



第9回 和島ひとみ さん

みなさまに親しまれたこの大会もお陰様をもちまして10年目を迎えることができました。

10年というこの節目の年を最後の大会とし、歴代のチャンピオン達によるグランドチャンピオン大会という形で盛大に締めくりたいと思います。

歴代チャンピオンによる夢のファイナルステージ!! いざ戦いの舞台へ

と き 平成28年11月19日(土) 13時開演(12時開場)

ところ 七飯町文化センター(パイオニアホール)

入場券 当日券 中学生以上 ¥800/小学生 ¥500

前売り券 中学生以上 ¥500/小学生 ¥300

小学生未満は無料(10月3日より発売開始)

《前売り券取扱所》

七飯町社会福祉協議会、七飯町文化センター、大中山コモン、大沼婦人会館

●採点方法

3人ずつ3つのブロックに分かれ、一人2票を投票していただきます。それぞれのブロック上位1名が決勝に進出し、決勝も2票投票していただき優勝者を決めます。



赤い羽根共同募金チャリティーお楽しみ大抽選会 企業の景品等大募集

お楽しみ大抽選会の景品を提供していただける企業を募集しております。ご協力いただける企業については、当日のプログラム及び次回の社協ニュースにて貴社名を掲載させていただきます。

今大会出場者は募集いたしませんのでご了承ください。

「10年連続という大きな目標に向けて」

七飯町共同募金委員会
会長 大竹 幸次郎



平素より赤い羽根で親しまれております共同募金運動に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
本年で70回目という節目を迎える募金運動は、住民相互の助け合いを基本とし、町の人のやさしい気持ちを集める運動です。

あなたのやさしさが、あなたの声がけが、あなたの行動がきっと、町を変えていくはじめの一步になるはずです。

最近の募金状況は、情勢が厳しいものになっておりますが、平成27年度は4,107,218円もの募金が寄せられ深く感謝申し上げます。

さらに、今年の熊本地震の際には多くの義援金が集まり、皆様の意識の根底は困っている人を助けたいという思いが伝わってきました。

毎年この運動により集められた皆様の善意は、確実に町内で活動する福祉団体や福祉教育・高齢者及び障がいをお持ちの方々等に対する活動支援に使われ役立っております。

これからも、地域・職場・学校等の協力を得ながら、地域に根ざした活動として更に推進し、快く募金していただけるよう活動を展開し、「安心して暮らせるまちづくり」をめざしていきたくと考えております。

皆様の温かいご支援ご協力をお願い申し上げます。

平成28年度 赤い羽根共同募金助成を受けている団体一覧

団体名	活動概要	団体名	活動概要
1 七飯町立軍川小学校	学校及び近隣の美化活動	11 精神障害者回復者クラブ「和の会」	精神障害者支援
2 七飯町立峠下小学校	学校及び近隣の美化活動	12 老人クラブ連合会	ローレピック等活動支援
3 七飯町立大中山中学校	ブルタブ回収で車椅子を	13 七飯町介護者と共に歩む会	認知症の家族会と認知症予防運動普及活動
4 七飯町立七飯中学校	学校及び近隣の美化活動	14 七飯町町内会連合会	七飯町を住みよい町にする活動
5 七飯町立大沼中学校	大沼クリーン作戦	15 七飯町民生委員児童委員協議会	民生・児童委員の身近な活動の支援
6 七飯町立大沼中学校鈴蘭谷分校	大沼雪と氷の祭典に参加協力	16 七飯町しおん会	ひとり親ネットワークの支援活動
7 七飯町手をつなぐ育成会	知的障がい者の支援活動	17 七飯レクリエーション協会	被災地支援活動
8 自閉症者を支えよう「あっぷる」	自閉症者の支援活動	18 市民後見人の会 ななえ	成年後見制度の普及活動
9 NPO法人ななえあーす	障がい児通所支援	19 ボランティア連絡協議会	ボランティア団体の活動支援
10 七飯町身体障害者福祉協会	身体障害者支援	20 社協広報活動	社協ニュースによる広報活動

日本ハムファイターズ
勝利募金 平成28年8月21日現在
～チーム1勝につき
2,000円募金します～
〈ご協力者〉 〈今シーズン勝利数〉
栗山監督 68勝43敗1分
〈勝利募金額〉
136,000円

零封募金
～チーム完封勝利1回につき
1,000円募金します～
〈ご協力者〉 〈今シーズン完封勝利回数〉
栗山監督 14回
〈零封募金額〉
14,000円

赤い羽根サポーター宣言
積み重ねて、強くなる。
赤い羽根サポーター宣言
私たちプレーを観戦にきて、赤い羽根共済会を応援しています。

赤い羽根サポーター宣言
積み重ねて、飛躍する。
赤い羽根サポーター宣言
私たちプレーを観戦にきて、赤い羽根共済会を応援しています。

コンサドーレ札幌
勝点募金 平成28年8月21日現在
～勝点1につき
3,000円募金します～
〈リーグ戦勝点〉19勝6敗4分勝点63
〈リーグ戦勝点募金額〉189,000円

ゴール募金
～1ゴールにつき
3,000円募金します～
〈リーグ戦ゴール数〉47ゴール
〈リーグ戦ゴール募金額〉141,000円

チャリティーサッカー教室の実施
チャリティーオークションの実施
赤い羽根街頭募金活動への参加
ホームゲーム会場にて募金ブースの設置

ヒット募金 ～ヒット1本につき 2,000円募金します～

〈ご協力者〉	田中賢選手	122本	244,000円
	陽選手	116本	232,000円
	中田選手	107本	214,000円
	西川選手	114本	228,000円

プレミアム募金 ～盗塁1回成功につき 1,000円募金します～

〈ご協力者〉	田中賢選手	18回	18,000円
	陽選手	4回	4,000円
	西川選手	30回	30,000円

プレミアム募金 ～ホームラン1本につき 1,000円募金します～

〈ご協力者〉	中田選手	17本	17,000円
--------	------	-----	---------

エスポラーダ北海道（フットサル）

平成28年8月21日現在

勝利募金 ～1勝につき 1,000円募金します～
〈今シーズン勝敗〉3勝2分5敗 〈勝利募金額〉3,000円

街頭募金活動の協力（予定）
ホームゲーム会場にて募金ブースの設置
フットサル教室の実施（予定）

レバンガ北海道（バスケット）

勝利募金 ～1勝につき 1,000円募金します～

街頭募金活動の協力（予定）
ホームゲーム会場にて募金ブースの設置
チャリティーバスケット教室の実施（予定）
チャリティーオークションの実施

北海道銀行フォルトゥス	カーリング	チーム1勝	2,000円	街頭募金	ピアプロ 初音ミク	CG	原画の提供協力
ロコソラーレ					妖怪ウォッチ	漫画	
漫画家のみなさん	書下ろしイラスト等の提供、チャリティーオークション						

目標 10年連続 400万円

10月1日から赤い羽根共同募金運動がはじまりました。皆様のご協力がなければ9年間連続で達成することは容易なことではありませんでした。今年も12月31日まで10年連続という大きな目標達成に向けて活動しますので、皆様のご理解、ご協力宜しくお願い致します。



本町地区文化祭



本町地区文化祭



大中山地区文化祭



大中山地区文化祭



大沼地区文化祭



大沼グレートラン



大沼グレートラン



職域募金

町に愛を、胸にバッジを
寄附金付バッジ好評受付中
各500円以上の募金で贈呈しております。

数に限りがあります。
予めご了承下さい

Piapro 支え合うココロ、
未来へ初音ミク七飯町限定ピンバッジ
北海道新幹線開業記念北海道共同募金会
今年のモデルは大鷲です

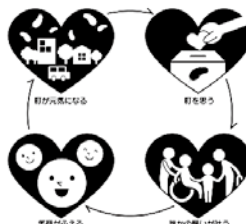
共同募金の仕組み

集められた募金の約70%は、じぶん達の町を良くするために使われています。

約30%は、市区町村を超えた広域的な課題を解決するための活動に、都道府県の範囲内で使われています。

災害等準備金

大規模な災害が起こった際のそなえとして、各都道府県の共同募金会では、募金額の一部を「災害等準備金」として積み立てています。この積み立ては、大規模災害が起こった際に、災害ボランティア活動支援など、被災地を応援するために使われています。



平成28年度 街頭募金予定表

月 日	場 所	時 間
10/ 3 (月)	役場前	9:30 ~ 10:30
	函館信金前	
	大沼出張所 大中山出張所	
10/ 8 (土)	大中山文化祭	10:00 ~ 11:30
10/16 (日)	大沼グレートラン	
	藤城文化祭	
10/22 (土)	大沼文化祭	
10/29 (土)	本町文化祭	

公募

七飯町共同募金委員会では平成29年度の助成金交付団体を募集致します。12月26日までにお申込下さい。
詳細は当委員会まで。

☎ 65-2067

《お問い合わせ》

北海道共同募金会
Community chest of hokkaido
☎ (011) 231-8000



「平成 28 年 熊本地震」 義援金 3,359,753 円を送金いたしました。

今年 4 月 14 日夜、熊本で発生した地震により甚大な被害が起きました。さらに被災地では、突発的に起こる地震により復興が遅れています。

今回、早い復興を願って皆様よりお預かりした義援金を、北海道共同募金会へ送金いたしました。ご協力いただいた多くの方々、本当にありがとうございました。

今後、北海道共同募金会より熊本県共同募金会あるいは大分県共同募金会に一括送金され、各県に設置された義援金配分委員会（県庁、県共同募金会、日本赤十字社県支部で構成）を通じて、被災者へ配分される予定です。

9 月 13 日現在

町内会連合会	54 町内会	2,913,040 円
募金箱設置	21 力所	291,960 円
団体等（窓口）		101,894 円
街頭募金	3 力所 4 回	52,859 円
合 計		3,359,753 円



町内会連合会役員

大川町内会	南本町町内会	大沼親交会	武佐川町内会
桜園地町内会	大川十字街町内会	湯出川団地町内会	上湯出川町内会
本町中央町内会	南藤城町内会	桜町第 3 町内会	にんにく沢町内会
本町寿町内会	正覚寺通り町内会	北大川町内会	西部鳴川町内会
鳴川協和町内会	南本町第一町内会	中野町内会	本町下通り町内会
上大中山町内会	本町中通り町内会	藤城北町内会	見晴町内会
上藤城町内会	豊田町内会	峠下連合町内会	鳴川中央町内会
鳴川高台地町内会	七飯町中央親交会	松の木町内会	桜町第一町内会
仲よし町内会	東大川町内会	大川美園町内会	緑町町内会
大沼第一町内会	桜町第 4 町内会	川尻親交会	藤城町内会
大中山湯出川町内会	グリーンタウン藤城町内会	松並町内会	光陽団地町内会
本町上台町内会	本町和町内会	本町上台町内会	大沼公園親和会
桜町第 2 町内会	本町町内会	鳴川中央町内会	
本町駅前町内会	本町西部町内会	大中山中央町内会	



ホクレン前街頭募金

おしまHOTかないセンター 巡回相談会

生活上（暮らしや仕事）の悩みや経済的な困りごとについて、一人で悩まずお気軽に相談ください。
おしまHOTかないセンターは、あなたの町にお伺いして、あなたと一緒に解決方法について考えます。

- と き** 平成 28 年 10 月 14 日（金曜日） 13 時～15 時
- と ころ** 七飯町社会福祉協議会 ボランティアルーム（七飯町本町 4 丁目 8 番 1 号）
- 相談方法** 当日、相談会場までお越しください。
（相談中の場合には、若干お待たせする場合がございますのでご了承ください。）
自宅等での訪問相談を希望される方は別途調整を致しますので、
事前に下記問い合わせ先にご一報ください。

- そ の 他** 相談は無料です。
- 問合せ先** おしまHOTかないセンター 0138-47-3013
七飯町社会福祉協議会 0138-65-2067



平成28年度 渡島管内社協役職員セミナー

平成 28 年 8 月 30 日（火）文化センターにおいて、渡島管内社会福祉協議会役職員セミナーが開催され、当会の理事や各事業所管理者、職員等が出席しました。講師の小濱介護経営事務所代表 小濱道博氏より「次期介護保険制度改正の動向と新しい総合事業について」と題し、今後の介護保険事業の収益性や方向性、国の動向や地域の支援事業について講演をいただきました。

中でも「介護予防に関するボランティアの育成、地域組織の育成、社会参加活動の充実が大切で、近隣住民間での信頼関係やなじみの関係が重要な前提であり、その構築には十分な時間が必要」とおっしゃっていました。



七飯社協から 17 名出席しました。



小濱道博 氏

なかよし号

【利用目的】

貸出車輛「なかよし」は健康づくり、仲間づくり、生きがいづくりを目指し、外出の機会を支援し、活動の輪を広げ、会員の相互理解を深め、連携を図るために使用されるため色々な団体に利用されています。営利を目的としない活動や緊急性のある事案に対しても、利用状況に応じて貸出をしています。



有効に活用されています。

【利用方法】

- * 貸出車輛は6名から10名までは1台、12名から20名までは2台となっています。
- * 利用回数は1団体につき七飯町内及び近郊は、1日とし回数は1か月に2回、宿泊を伴う場合は2泊3日の期間とし回数は1年に1回とする。
- * 貸出時間は利用当日の午前8時30分からとするが、それ以前に利用したい場合は、別途事務局が調整します。
- * 返却時間は利用終了日の午後5時までとするが、それ以後に返却したい場合は、別途事務局が調整します。
- * 社協車輛の申し込みは、町内会・福祉団体・ボランティア団体は使用予定日の3か月前の同日午前9時より、スポーツ団体・文化団体・子ども会・営利目的でない企業の利用等は使用予定日の1か月前の同日午前9時より、どちらも所定の申込書にて受付します。ただし、受付日が休日の場合は休み明けの日となります。
- 申し込みが複数の時は、先着順とし、仮申込は認めません。
- * 社協車輛の利用料は無料ですが返却時の軽油の満タン及び車輛内外の清掃と車内の禁煙をお願い致します。

詳しくは社協ホームページの車輛貸出をご覧ください。



ななえローレンピック 2016 大会に 総勢370名参加!! 『いい汗さわやか いきいき人生』



2007年より始まったこの『ななえローレンピック』も今年で9年目を迎え、参加者もますます元気になって盛り上がっていました。

8月25日の朝、七飯町文化センタースターホールにて、それいゆコーラスの「町歌」と「ドレミの歌」で今年の大会の幕が上がりました。

その後、北見実行委員長は挨拶の中で「今、オリンピックが開催され日々、勇気と感動をもらっています。ローレンピックもそれに負けず、元気にがんばりましょう。そして、4年後の東京オリンピックには、新幹線に乗って応援に行きましょう!」と意気込みを語り、会場は多くの拍手に包まれました。

午前の部は芸能発表が行われ、各老人クラブや老人大学のサークルの方々が日頃から練習されている歌や踊りを披露し、拍手喝采を浴びていました。

午後はスポーツセンターに移動し、輪投げ、バグー、ボール送りの3つの競技を14のチームに分かれて競い合い、誰もが真剣勝負に力を入れておりましたが、時々力が入りすぎてズッコケてしまい笑いが起こる場面もしばしばありました。

参加された方々は一日を通して生き生きとした笑顔で楽しんでいる様子でした。「また来年も元気に逢いましょう!」とお互いに声をかけあい笑顔で帰路につきました。



北見実行委員長



峠下長寿会による民謡



輪投げ



ボール送り

ふれあいベンチ

社協会員会費の一部を使って購入・維持してきた「ふれあいベンチ」が6月に本町の駅前通りで1台盗難にあいました。皆様から頂いた会費で購入したベンチでこのような事が起こり、申し訳ない次第であります。

警察にも届け出ましたが、いまだに手掛かりはありません。今後このような事が無いように対策をしていきたいと考えております。

ボランティア

ボランティア愛ランド北海道 2016 in むろらん

8月27日(土)・28(日)
室蘭市文化センター

『ボランティア愛ランド』は、全道のボランティア実践者が一堂に会し、ボランティアに関する様々な課題等について協議を行い、ネットワークの強化・交流などを通して、ボランティア活動の推進を図る大会です。今年は『だいすき！むろらん・いぶり・ほっかいどう～人・まちが元気に！！～』をテーマに開催され、約1000人もものボランティア関係者が室蘭市に集結し、七飯町からは7名参加しました。

27日(土)は子育て支援や高齢者支援・環境・災害などをテーマにした11分科会の中から、私達は『地域支援活動の現状』をテーマにした分科会に参加し、登別でサロン活動を運営する団体、「NPO法人 ゆめみ～る」と白老町で高齢者や障がい者を対象に日常生活での困りごとを支援する団体「NPO法人 御用聞きわらび」の活動発表を聞き、行政の公的サービスで手の届かない隙間を埋めるにはボランティアや地域の支援がますます求められているのだと改めて認識させられました。

28日(日)はボランティア奨励賞の授賞式が行われその後、室蘭出身の気象予報士 濱崎慎二さんの『気象の視点からみる北海道の魅力～防災から考える地域づくりとは～』と題した講演を聞きました。濱崎さんは、「公助には限界があり、住民の防災意識や地域の防災力を高めることが重要」とまとめ、終演しました。



施設のお祭りでボランティアさんが大活躍!!



なるかわ病院 秋祭り 7月30日(土)

患者さんと家族、地域の方々も参加し、たくさんの模擬店の他、よさこいあり盆踊りありの賑やかなお祭りに12名のボランティアさんが、お手伝いしました。



好日園 夏祭り 8月26日(金)

今年も9名のボランティアさんが、カウンター前でおにぎりや焼きそばを手渡したり、ジュース・かき氷・そうめんコーナーを手伝って下さいました。



グループホーム匠和 秋祭り 9月3日(土)

お祭り当日だけでなく、草刈りや会場設営等6名のボランティアさんにご協力いただきました。豚汁の無料配布や野菜の即売、地域の方による出店等盛りだくさんの露店が並びました。



ご協力して下さいました皆さんありがとうございました。

クリーンボランティア in 大沼

6/15
(水)



「大沼を訪れる方が、気持ち良く過ごせるように…」と、今年も8名のボランティアさんと一緒に大沼公園駅周辺の草刈りを行いました。
(主催 大沼を愛する会代表 財津 茂実)

第7回 赤松街道納涼祭

7/9(土)
~10(日)



8日の会場設営から3日間で、11名のボランティアさんが、遊具に遊ぶ子供達を誘導して下さいましたお陰で、安全に楽しむことができました。

ふれあいベンチ清掃

9/13
(火)



この日集まった5名のボランティアさんは、町内38ヶ所に設置しているベンチを1台ずつ丁寧に清掃しました。
また、周囲の草刈りやゴミ拾いをしていると道行く人から「ご苦労様」と声を掛けられ笑顔でごたえていました。

買い物 ボランティア



5月から始まり、藤城地区・鳴川高台団地を中心に8回程実施しました。利用した方からはずっと続けてほしいといううれしい声を頂きました。買い物ボランティアの範囲はまだ狭くなかなか利用者全員の希望通りにはいきませんが、今後も続けて活動を広げていきたいと思っています。

の 広 場



書道家シンガー・友近890（やっくん） 笑顔届けに七飯町に…7月29日（金）

友近さんは東日本大震災の避難所で開いたライブをきっかけに、「音楽でたくさんの人に笑顔を届けたい」と『笑顔届けるライブ』と題し、日本全国の福祉施設などに出向き無料ライブを行っています。

日本5週目となる今年、ご縁があって町内の高齢者施設2ヶ所をご紹介させていただき、当日は大歓迎で友近さんを迎えてくれました。

ライブではオリジナル曲の他、『幸せなら手をたたこう』や『青い山脈』等おなじみの懐メロも披露し入所者のみなさんを笑顔にしました。

ライブの終盤には書道の準師範という腕前を活かし、歌いながら書道を披露するパフォーマンスでさらに皆さんを楽しませてくれました。



グループホーム 匠和



渡島養護老人ホーム 好日園

第11回 ユニバーサル上映映画祭 七飯上映会 6月19日（日） 文化センター スターホール

今年も9名のボランティアさんに受付や会場案内・託児所の他、送迎もお手伝いいただきました。

この映画祭は障がい者と健常者が共に楽しむことができるよう、手話通訳や要約筆記に加え、字幕や音声ガイド（場面説明）等を付けて上映するものです。

今回上映した映画は『あい〜精神障害と向き合って〜』で、精神障害のある方達に焦点をあてた、ドキュメンタリー映画です。

会場の宮崎監督は、「障がい者の苦しみや、その先にある希望を見いだす姿を知ってもらい安心して暮らせる社会の実現を願って制作した」と挨拶しておりました。

上映後、北海道教育大学の学生等によるトークセッションや七飯大沼国際コンベンション協会・七飯町社会福祉協議会・北海道運輸局 函館運輸支局が、それぞれの活動や取り組みについて発表されました。



ボランティア研修会 「終活について考える」

～人生の後半戦を楽しむ為に～ 7月21日（木）文化センター

講師 ㈱マイ・プロモーション
代表取締役 榎木 泰子 氏

ボランティアセンターでは、ボランティアの活性化と資質向上を目的に、年2回研修会を開催しています。

今回は、最近関心が高まっている『終活』についてお話いただきました。

『終活』と聞くと人生の最後の準備として捉えがちですが、榎木さんは『終活とは人生の終焉を考えることを通じて自分を見つめ「今」をより自分らしく生きることによって決して死に行く為の準備ではない』とし、さらに人生の延長線上にある医療・介護・相続・お墓等の問題について書き記すと同時に大切な家族に気持ちを伝える為にエンディングノートを書くことを勧めていました。

この日の参加は約50名で、「興味深いお話でした。」「早速エンディングノートを買いたい」等という感想が聞かれ、今までの人生を振り返り、これからの人生を心豊かに暮らすことの大切さを知った研修会でした。



平成28年度 渡島管内ボランティア活動研究協議会

9月8日（木）北斗市総合文化センター かなで～る

講師 北海道国際交流センター
池田 誠 氏

渡島管内のボランティアが、互いの理解を深め、ボランティア活動の在り方等を考えることを目的に渡島地区ボランティア連絡協議会の主催により毎年開催されているもので、管内のボランティア実践者約130名が集まり、七飯町からも16名が参加されました。

はじめに「渡島のボランティアの仲間を知ろう」ということで、函館市より『年金受給者協会』・福島町より『読み聞かせの会』・鹿部町からは『介護支援サポーター ささえ隊』の3団体の活動発表があり、その後 池田さんの指導のもと『HUG（避難所運営ゲーム）』の模擬体験をしました。

HUGとは、避難所に見立てた平面図に年齢・性別・抱える事情の違う条件が書かれた避難者カードを配置していくゲームです。実際にやってみると避難者の状況を判断し適切な配置をすることがいかに大変なことかを実感させられ、貴重な体験となりました。

地域要援護者支え合い事業

元気に安心して暮らせる町、人を目指して地域で支え合いながら、各町内会など実情に合わせ、親睦を兼ねた外出や健康意識を高めた活動も熱心に取り組まれています。それぞれ地域や町内会で意欲的に取り組まれている活動にスポットを当て、合わせて社協事業の健康づくり活動での様子を一部紹介します。

動いて、笑って…笑いヨガ

～南藤城町内会～

今年3月から新たな試みで始めた南藤城町内会（会長佐藤清美氏）の「笑いヨガ」教室は町内会の福祉部が中心となって毎月2回上藤城会館で行われ、「元気で健康的に！」を目的に毎回10～20名が参加し、楽しい笑い声で満ちています。「家で一人閉じこもってTVだけを見ているよりも、皆で集まり会話をしたり、体を動かしたりして、みんなで笑っている時間を共有できていることが一番！今後も継続していきたい」と町内会長さんも意欲的でした。



きりっと集中太極拳でゆっくり体操 菊づくりで和み団らん交流！

～本町上台団地町内会～

本町上台団地町内会（会長飯谷陽一氏）では会館にて毎週月曜日に太極拳、金曜日にカラオケ大会を行っております。太極拳は独特なポーズで構え、ゆっくりと呼吸しながら無理なくでき、参加されている方からは「気軽に続ける事ができて、健康にも良い」といった声が聞こえました。他にもサロン活動では各々菊作りを行っており、花が咲くまでの半年間、皆で会話を楽しみながら大事に育てておりました。



ふまねっとで運動

社協では、「認知症予防運動のふまねっと」の講師を派遣しております。町内会、老人クラブなど地域の各団体のみなさまの要望をお待ち致しております。



双六会

ふまねっと運動とは網のマス目を踏まないように一定のリズムをとりながら歩く運動です。たくさんのステップが用意されており、間違えないように学習しながら歩行のバランスを改善するプログラムです。「次はどっちの足？」と四苦八苦すると、思わず会場が盛り上がり、どの団体にも喜ばれております。



川尻親交会

単身高齢者交流会参加者募集！

今年度も、単身高齢者交流会の開催について決定しました。

当日は「認知症予防運動のふまねっと」をして頂き、その後、楽しいゲームで交流を深めて頂きたいと思います。多数の参加をお待ちしております。お気軽にお問合せ下さい。

○開催日時 大沼地区 10月20日(木)
本町地区 10月21日(金)
大中山地区 10月25日(火)
午前11時～午後3時頃まで(予定)

○場所 ホテル秋田屋 東前温泉しんわの湯
(北斗市東前85-5) TEL (77-8555)

○対象者 七飯町内在住のひとり暮らしの高齢者
(65歳以上の方・日中独居の方含む)

○参加費 2,000円(当日回収)

○定員 各地区それぞれ40名

○持ち物 入浴道具(石けん、タオルなど)

○申込方法 直接社協へ又は電話(65-2067)にて

○申込受付 9月29日(木)から受付開始

○メ 切 10月13日(木)迄

(但し申込は、先着順とし定員になり次第締め切りとなります。)

◎ご不明な点等がございましたら、お問合せ下さい。

※申込後、送迎バスの時間等、後日連絡致します。

除雪機貸出案内情報

今年度も地域要援護者支え合い事業の一環で申請のある町内会等に小型除雪機の貸出を行います。現在22台(ロータリー式・ハイブリッド式・ブレード式)所有しております。申請については、各町内会長様宛に後日、申請用紙を送付致しますので、検討のうえ申請願います。

除雪機は無料で貸し出しますが、燃料・保管場所については、各町内会で確保して頂きます。

ご不明な点などは社会福祉協議会まで、お問合せ下さい。



お知らせ！

H28年度、当事業申請を4月中旬から受付し、49町内会から申請をいただきました。今年度、まだ申請されていない町内会や、冬場の除雪等の追加申請がある場合、町へ提出する都合上、検討のうえ10月17日(月)までに社協窓口へ提出の程宜しくお願いします。

『地域と共に考える研修会』の報告

6月30日七飯町文化センタースターホールにて七飯町社会福祉協議会主催による『地域と共に考える研修会』が開催され、181名の方が参加しました。

これは私たちの身の周りの気になる出来事や新しい制度などをテーマに選び、各分野の専門家のお話を伺う研修会です。

今回は木下元章法律事務所の弁護士であられる百合拓泰氏を講師としてお招きし、最近何かと耳にする『個人情報』について3つの視点から学ぶこととなりました。

資料のほかにホワイトボードを使った大変丁寧な説明であつたという間に終了時間となっていました。

七飯町社会福祉協議会ではこれからも地域の方たちと様々な問題に目を向け学んでいきたいと思ひます。



多くの方にご来場いただきました。



百合拓泰氏

七飯町グループホーム「ひだまりの家」家族会

9月4日(日)グループホーム「ひだまりの家」にて、入居者様の家族や地域の方、ボランティアの方をお招きし、家族会を開催しました。

心配された天気もちこたえー安心したところから始まった家族会は約40名の方が参加しました。

炭火で焼くお肉や海鮮などがテーブル狭しと並び、さらに家族も一緒に食べるとあって、皆さんはいつもにも増して良い笑顔をしておりました。「ひだまりの家」は、平成12年に開所以来、地域の方々やボランティアさんの協力を得ながら、入居者様へ寄り添い運営をしてきました。

今後もご家族や各関係機関の理解を得ながら、地域に密着したサービスを提供していきたいと思ひます。



グループホーム「ひだまりの家」前にて

七飯町社会福祉協議会 準職員募集!!

七飯町グループホーム「ひだまりの家」で介護員を募集しております。
働きやすい職場で、やりがいのある仕事を一緒にしてみませんか？

資 格	介護職員初任者研修、普通自動車
月 給	138,600円～149,700円
処遇改善手当	約20,000円/月
資 格 手 当	3,000円/月(介護福祉士)
夜 勤 手 当	5,000円/1回
通 勤 交 通 費	当会規程による
賞 与	年2回(6月・12月)
休 暇	週休2日制(シフト制) / 有給有り

時 間	早番 6:45～15:30
	日勤 8:30～17:15
	遅番 10:15～19:00
	夜勤 16:00～ 9:00

9名定員のグループホームで、個々の状態に応じて食事、掃除、入浴等の介助を行います。家庭的な明るい雰囲気の中、親切丁寧に指導させていただきます。

問合せ：事務局次長 岸／電話 65-2067

多くの寄贈品ありがとうございました

(敬称は省略させていただきます)

使用済み切手、使用済みテレホンカード、

リングブル、書き損じはがきなど有効に活用させていただきます。

しおん会、介護者と共に歩む会、岩多京子、ゆうりん、藤城保育園、鈴木恵子、佐々木恵子、ボランティアサークル金曜会、(株)久慈製作所、道南福祉ねっと、アクアサービス作業員一同、田中芳子、佐野禎子、チーフー学園、久米田均、大西美恵子、島田陽一、高橋遥奈・大貴、中矢幹夫、七重小学校、野田晟太郎、あゆみの会、太田心月・高橋瑞貴、株式会社タカヤ陸運、松木久子、三浦良子、スポーツセンター、佐々木悦子、横山テル子、渡辺雅照・大中山ディスコ愛好会、ついき農園、岩本美智子、田澤莉乃、千葉まさよ、パソコンサークル、ゆうひの館、みどり保育園、高桑登志子、長山顕

福祉機器のご寄付

後藤 実 様 電動ベッド2台

(平成28年6月17日から平成28年9月14日現在)

温かいご寄付 ありがとうございました

皆様からの心の善意が当会に届けられました。

ご寄付いただいた皆様、本当にありがとうございました。

平成28年

6月29日	匿名様
8月29日	匿名様
9月5日	大中山ディスコ愛好会様
9月9日	匿名様

介護保険利用者負担軽減制度を実施しています。

介護保険制度は、サービス利用時、自己負担として1割（2割）の利用料を負担しますが、中には低所得等によりサービスを利用できない、また利用回数を制限している世帯があると思われます。

七飯町社会福祉協議会では、社会福祉法人として社会的役割に鑑み、運営主体になっている事業所をご利用されている世帯で下記の該当となった場合、利用者負担額を軽減する制度を平成28年7月から実施しています。



対象者

町民税非課税世帯者であって、次の要件を全て満たしている方のうち、その方の収入や世帯状況、利用者負担等を総合的に勘案し、生計が困難であると会長が認めた方と、生活保護受給者が対象です。

- ①年間収入が単身世帯で150万円、世帯員が1人増えるごとに50万円を加算した額以下であること
- ②預貯金等の額が単身世帯で350万円、世帯員が1人増えるごとに100万円を加算した額であること
- ③日常生活に供する資産以外に活動できる資産がないこと
- ④負担能力のある親族等に、扶養させていないこと
- ⑤介護保険料を滞納していないこと



対象事業所

ホームヘルプステーション「七飯社協」七飯町字中野210-2 TEL：65-4902
七飯町デイサービスセンター「なかの苑」七飯町字中野210-2 TEL：65-1002

対象サービス

訪問介護 介護予防訪問介護
通所介護 介護予防通所介護

軽減の割合

利用者負担及び食費の4分の1（老齢福祉年金受給者は2分の1）
生活保護受給者は利用負担及び食費の全額

軽減制度を利用するには、申請の手続きが必要です。

申請者

七飯社協へ（事業所でも可）

ヘルパーやデイの利用



申請書等



要件に該当する場合は社協に申請書等を提出

審査を行い、該当者には「確認書」を交付します

事業所に「確認書」を提示して、利用料の軽減を受けます。

申請に必要な書類等

1. 社会福祉法人七飯町社会福祉協議会利用者負担額軽減対象者確認申請書
2. 町民税非課税証明書
3. 収入等の添付書類・・・申請者及びその属する世帯全員の収入について申告していただく必要があります。
 - (1) 所得証明書の写し（前年の1月から12月までの収入）
 - (2) 預金通帳の写し（過去1年分を添付してください）
 - (3) 住民票（世帯全員分）
 - (4) 介護保険証
4. 資産及び扶養の有無に関する申告
自らの住まい等、日常生活に供する資産以外に住居や土地など、収入を補うために活用できる資産がないこと。
5. 負担能力のある親族等に扶養されていないこと
町民税の控除対象者は、原則的に負担能力のある親族等に扶養されているとみなされます。

